第２学年　総合的な学習の時間　指導案

1　単元名「キャリアアップ・職場体験学習」

2　単元の目標

・職場体験を通して、職業人の生き方を学び、将来の生き方に関わって自己を見つめることができる。

・地域社会での勤労活動を通して、自己と地域のつながりを実感し、地域について理解を深める。

3　単元の評価規準（キャリア教育で身につける４能力）

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
・職場体験先に関する様々な情報を収集し、知識を得ている。（課題対応能力） ・身近な職場を訪問し職場体験を通し、働くことの意義や職業人の責任についての考えを深めている。（キャリアプランニング能力）	・職場体験を通して学んだことをお礼状や事後レポートにまとめ、相手にわかりやすく伝えている。（人間関係形成・社会形成能力） ・自分の将来の職業や進路、生き方について考えるため、仲間の意見や体験で学んだことを参考にしている。（自己理解・自己管理能力）	・仲間や職場の方と積極的に関わり、コミュニケーションを図ろうとしている。（人間関係形成・社会形成能力） ・自己の適性に合わせて職場体験先を選定し、目標や課題を考え、職場体験を通して自分の良さを伸ばそうとしている。（キャリアプランニング能力）

4　単元について

中央教育審議会・平成２３年１月の答申によると、キャリア教育とは「一人一人の社会的・職業的自立に向け，必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して，キャリア発達を促すことを目指す教育」としている。さらに、キャリア教育では職業人だけではなく、家庭人、地域社会の一員など、様々な役割を担う人材の育成を目的としている。

生徒は、他者や社会との関わりの中で、家庭人、地域社会の一員、学級の一員等と様々な役割を担いながら生活している。これらの役割は、人生の中で変化しつつ積み重なり、つながっていくもので、中には所属する集団や組織から与えられたもの、日常生活の中で特に意識せず習慣的に行っているものもある。生徒は自分の役割を果たして活動することなど「働くこと」を通して、人や社会に関わることになり、その関わり方の違いが「自分らしい生き方」となっていく。

このような毎日の生活の中で生徒が様々な役割を果たす過程において、自らの役割の価値を見いだしていくことを積み重ねていくことが、キャリア発達を促していくと考えられる。

そこで、このキャリア教育の本質をまずしっかりとらえ、中教研進路指導部の主題「将来の生き方を考え、主体的に進路を選択できる生徒を育てる指導～キャリア教育の実践や啓発的な体験活動の充実を通して～」に迫っていけるよう、「生徒に近い将来や遠い将来のことを意識させながら、教え導いていく」ような実践としたい。

生徒に身につけてもらいたい力として「聴く力」「伝える力」「行動する力」「調整する力」の４つの力を設定した。本単元では４つの力を様々な学習活動で伸ばしていけるよう支援していく。さらに「まとめと振り返り」では、あらかじめもっていた自分の考えが、友人の考えを聴くことでよりよいものになり、その考え

を周りに伝え、実際に行動に移せるよう調整していく活動としたい。

そして、職場体験学習では、ただ「体験学習をすればよい」「体験後まとめをすればよい」ということではなく、生徒たちが実社会で働いている大人の姿に接することで、「大人が学校で学んだことをどのように活かしているのか」、「大人たちがどのように社会に貢献しているのか」、「自分もこれからの学校生活で将来のために頑張っていかなくてはならない」と実感することで、学校での各教科の学習の必要性や責任をもって役割を果たすことにつなげていきたい。さらに自分の将来にどのようにつなげていくかをしっかり考え、まとめ、それを仲間たちと共有し、強化していくことができるような取組としたい。

5　単元の指導計画（全２１時間＋課外学習１２時間＋3年4月1時間）

時	主な学習活動と活動内容	評価			
		知	思	学	評価規準
1 2 3	【動機付け】 ○キャリアアップガイダンス ・キャリアアップとは何か。なぜ人は働くのかを考える。 ○職場体験に向けて ・自分の適性を知り、自分の適した職業について考える。 ○職業講話 ・「働くことの意義」についての講話	○		○ ○	・職場体験への意欲をもつことができるか。（振り返り） ・自分の良い面を仲間との話し合いの中で見いだし、自分に適した職業について考えるようとしているか。（ワークシート） ・働くことの意義とはどのようなものか考えを深めているか。
4 5	【体験する職場の決定】 ○職場体験アンケート ○職場体験先の決定 ・個々が考えた学びたい仕事、職場をもとに体験先リストから、希望先の職場を決定する。人数に制限がある場合は抽選を行う。		○		・自分の個性や良さをいかした体験先の選択、決定をしているか。（ワークシート）
6 夏休み	【事前学習①】 ○プレ職業体験レポートを作成 ・決定した職場についてインターネットや書籍を利用して、職業の概要や喜び、苦労などを予想してまとめる。	○			・体験先に関する様々な情報を収集し、知識を得ているか。（レポート）
7 8	【スキルトレーニング】 ○マナー講習会 ○マナー講習会の振り返り ・マナー講習会で職場体験学習で必要とされるマナーや礼儀について学ぶ。	○		○	・自分のマナーについて見直し、必要なマナー、礼儀について理解しているか。（振り返り） ・必要なマナー、礼儀について実践しようとしているか。（振り返り）
9	【事前学習②】 ○自己紹介カード作成 ・個人の目標、課題の設定。「なりたい自分に近づ		○		・職場体験に対する自分の目標や考えを表現しているか。

	くために」や「自己 PR」の記入。				（ワークシート）
１０	○質問事項作成 ・訪問する職場の調べ学習で分からなかったことなどを質問としてグループでまとめる。				
１１ １２	○訪問計画作成（係活動の決定、交通手段等の確認） ・体験先での分担や日程、内容の確認と訪問時刻、交通手段や持ち物などをグループで確認する。			○	・職場体験で学習する意義をグループ全員で確認し、どのような心構えで臨むのか課題意識をもとうとしているか。（ワークシート）
１３ １４	○事前指導、最終確認 ・安全、緊急時の対応、あいさつや言葉遣いなどマナーに関することの再確認をする。				
課外 （１２）	【実践】 ・職場体験学習 各事業所にて			○ ○	・自ら課題意識をもち、活動に主体的に取り組もうとしているか。（振り返り） ・仲間や職場の方と積極的に関わり、職場や社会に貢献しようと取り組もうとしているか。（行動観察、事業所アンケート）
１５ １６ １７	【当日の振り返り】 ○職場体験の礼状作成 ・職場体験を通しての発見や気付きを整理し，下書きをして，清書する。 ○個人レポートの作成 ・職場体験を振り返り、事前学習で収集した情報と、体験で得た情報との異同を比較して考え、まとめる。 ・職場体験を通して自分自身の変化について考え、まとめる。	○	○		・職場体験を通して学んだことをお礼状や事後レポートにまとめ、相手にわかりやすく伝えているか。（礼状、レポート） ・働くことの意義や職業人の責任についての考えを深めているか。（レポート）
１８ １９ ２０	【体験学習発表】 ○発表準備 ・個人レポートをもとにグループで発表に準備をする。 ・発表リハーサル ○発表会 ・個々の活動内容、達成感や失敗などを共有する。		○ ○		・体験内容を要点を絞ってまとめ、わかりやすく伝えているか。（行動観察） ・自分の将来の職業や進路、生き方について考えるため、仲間の意見や体験で学んだことを参考にしているか。（ワークシート）
２１ 本時	【学習のまとめと振り返り】 ○個人の学びと感じたことをグループで共有する ○職場体験で学んだことと自分の将来を関連させ、			○	・仲間と積極的に関わり、コミュニケーションを図ろうとしてい

	これからの生き方を考える。			○	るか。（行動観察） ・職場体験を今の自分と将来の自分と結びつけ、これからの生活に生かす意欲をもとうとしているか。（振り返り）
（２２） ３年の ４月	【３年生の自分につなげる】 ○３年４月の目標設定で「なりたい自分になるための明日からの自分」の手紙を読み、新たな気持ちで目標を設定する。			○	・手紙を読み、卒業進路実現に向けた１年間になるように「なりたい自分」「これからの目標」を設定している（ワークシート）

６　本時の計画（２１時間目／全２２時間＋課外学習１２時間）

（１）本時のねらい

・職場体験で学んだことや感じたことをもとに、これからの中学校生活や自分の進路、将来の生き方について考え、４月に設定した「なりたい自分」に近づいていくために、何を改善していけばよいか自分を見つめ直すことができる。

（２）本時の構想

前時までは地域の方とふれあい、はたらく人々の思いや姿勢など、これまでの体験や授業で学んだこと確認し、仲間たちと協力したり考えたりしたことを発表会で共有した。本時では、仲間たちと共有したことを「楽しかった」「とりあえずまとめてみた」で終わらせず、自分の将来や近い未来にどのようにつなげ、活かしていくかという視点をもって各自でまとめさせたい。授業では①事前学習で設定した体験学習での「なりたい自分に近づくための目標」の自己評価と振り返り、②体験学習をなりたい自分に近づくためにどのようにつなげていくかを仲間と交流、③近い未来である３年生の自分への手紙を書く、の３つの活動を行う。この３つの活動で「この活動から何を学び、どのようにこれからの自分につながってくか」を意識し、実感をもたせたい。そして、３年生になった未来の自分が、進路選択の１年を頑張っていこうという気持ちをもつことができるような手紙が書けるよう指導したい。

そして、本校で身につけさせたいと考えている４つの力「聴く力」「伝える力」「行動する力」「調整する力」の「調整する力」が伸ばせるように振り返りを次の活動につなげたい

（３）本時の展開

学習活動	教師の働き掛けと予想される児童生徒の反応	■評価基準・○留意点
導入（５分） １　職場体験の体験先からの評価を確認し、振り返る。事業所から送られてきたアンケートを確認し、振り返る。	○職場体験の体験先から送られてきたアンケート結果を全員で確認する。 T１：「職場体験の体験先の方から送られてきたアンケート結果を確認しましょう」 S：アンケート結果、体験先からの評価を確認する。	○アンケートをまとめ、いくつかの事業所の評価、コメントをテレビに表示し、確認する。

展開①（１５分） ２　職場体験をもう一度振り返り、学んだこと感じたことをもとに、これからの中学校生活、進路、生き方について考える。	○本時の課題を確認 なりたい自分に近づくために、職場体験をどのように活かしていくか ○事前に設定した「なりたい自分に近づくための目標」「そのための努力事項」の達成度を自己評価し、職場体験の経験からなりたい自分に近づくことができたかを理由とともにまとめる。 T2「なりたい自分に近づくために立てた目標にどれくらい近づくことができたか。達成度を記入して、その理由を職場体験での経験、学びをもとに記入しなさい」 S「進んで行動できる人になりたいという目標に対して、積極的に商品の補充を行えたので達成度は 80%です。」 S「元気で前向きに生活できる人になりたいという目標に対して、あいさつの声がもっと大きくすればよかったと思うので、達成度は 70%です。」 ○「なりたい自分」に近づくために職場体験の経験から「これから身につけたい力、自分に必要だと思う力、職場体験をどう活かすか」について考え、理由とともにまとめる。 T3「記入した理由を参考に、これから身につけた力、必要だと思う力、どのように活かしていくのかを記入しなさい」 S「周りをよく観察をして、次に何をすべきか先を見て動ける力をつけたい。そして係活動や委員会活動で生かしたい。」	○達成度を何%なのかで表させ、その理由をなりたい自分に近づくことができたかを視点に記述させる。 ○職場体験の経験、学びを活かすよう指示する。 ■自分の将来の職業や進路、生き方について考えるため、体験で学んだことを参考にしようとしているか。
展開②（１０分） ３　グループで各自の考えを発表し合う。	○グループで「なりたい自分」と職場体験で感じた「なりたい自分」に近づくための“これから身につけたい力、自分に必要だと思う力、職場体験をどう活かすか”を理由とともに紹介し、友人と交流する。 T3「グループで「なりたい自分」とそれに近づくために「身につけたい力、必要だと思う力、職場体験をどう活かすか」をそれぞれ発表し、全員の発表が終わったら、ワークシートに感じたことやアドバイスを記入してもらいなさい」	○グループで意見交換させ、仲間の考えを聞き、全員の発表が終わった後、気づいたことや感じたことをワークシート交換して記入していくよう指示する。 ■仲間と積極的に関わり、コミュニケーションを図ろうとしているか。

	S「職場体験で学んだことから、言われたことをやるという受け身で生活するのではなく、自分はこうしたいという自主的に行動していきたい。」 S「いろいろな人と積極的に声にだしてコミュニケーションをとり、分からないことや迷っていることを解決できる力を身につけたい。」	■自分の将来の職業や進路、生き方について考えるため、仲間の意見を参考にしようとしているか。
終末（２０分） ４　グループでの意見交換を受け、自分のこれからの学校生活、将来の生き方について見つめ直す。	○今までの取組、話し合いから「なりたい自分に近づくための明日からの自分」という題で３年生になった自分へ手紙を書き、まとめとする。 T４「最後に「なりたい自分に近づくための明日からの自分」という題で４月の３年生になった自分へ手紙を書きなさい。」	■職場体験を今の自分と将来の自分とを結びつけ、これからの生活に生かす意欲をもとうとしているか。

（４）本時の評価

・仲間と積極的に関わり、コミュニケーションを図ろうとしていたか。（行動観察）

・自分の将来の職業や進路、生き方について考えるため、体験で学んだことや仲間の意見を参考にしようとしていたか。（ワークシート）

・職場体験を今の自分と将来の自分とを結びつけ、これからの生活に生かす意欲をもとうとしていたか。（ワークシート）